

八甲田山の火山活動解説資料（平成 25 年 5 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

2013年2月以降、八甲田山山頂直下を震源とする地震が散発的に発生しています。
また、東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震がやや多い状態が続いています。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況

噴気等異常に関する通報もなく、噴気活動にこれまでの状況と変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、3）

2013年2月以降、山頂直下を震源とする地震が散発的に発生しています。

また、東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震はやや多い状態で経過しています。

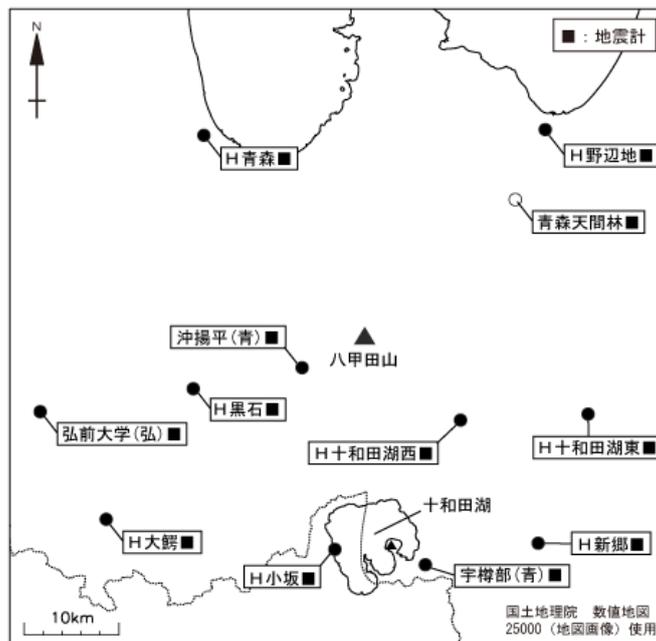


図1 八甲田山 観測点配置図

- ・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
- （弘）：弘前大学 （青）：青森県 H：独立行政法人防災科学技術研究所
- ・最も近い震動観測点は、沖揚平（青）で山頂から約7km離れています。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 6 月分）は平成 25 年 7 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、北海道大学、弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

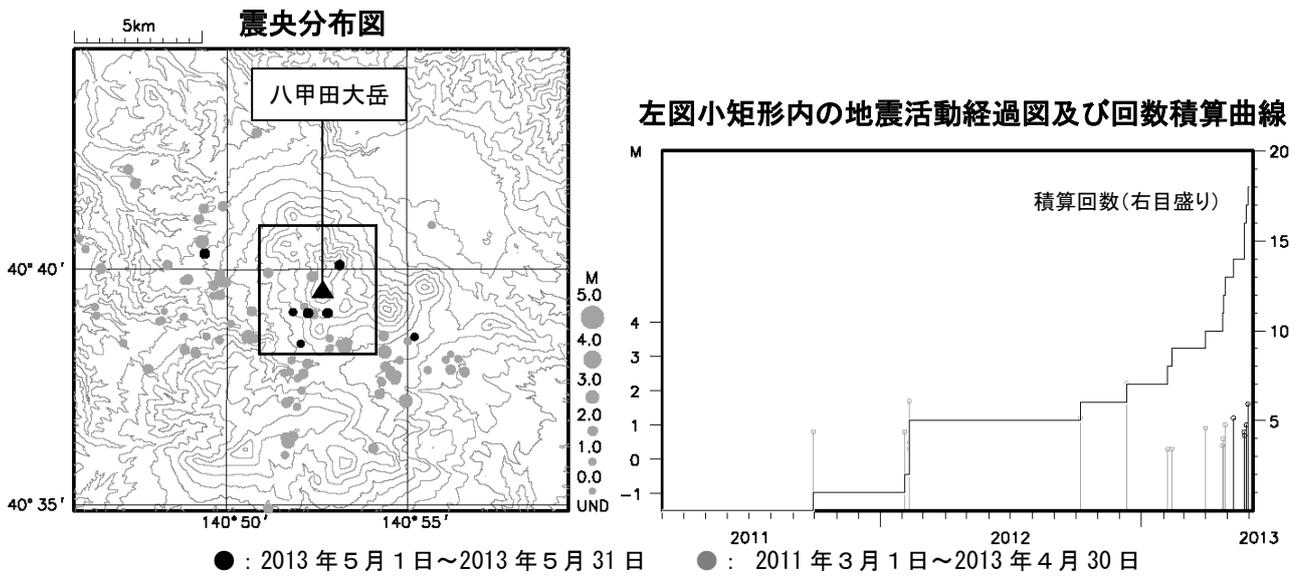


図2 八甲田山 広域地震観測網による山頂付近の地震活動（2011年3月1日～2013年5月31日）

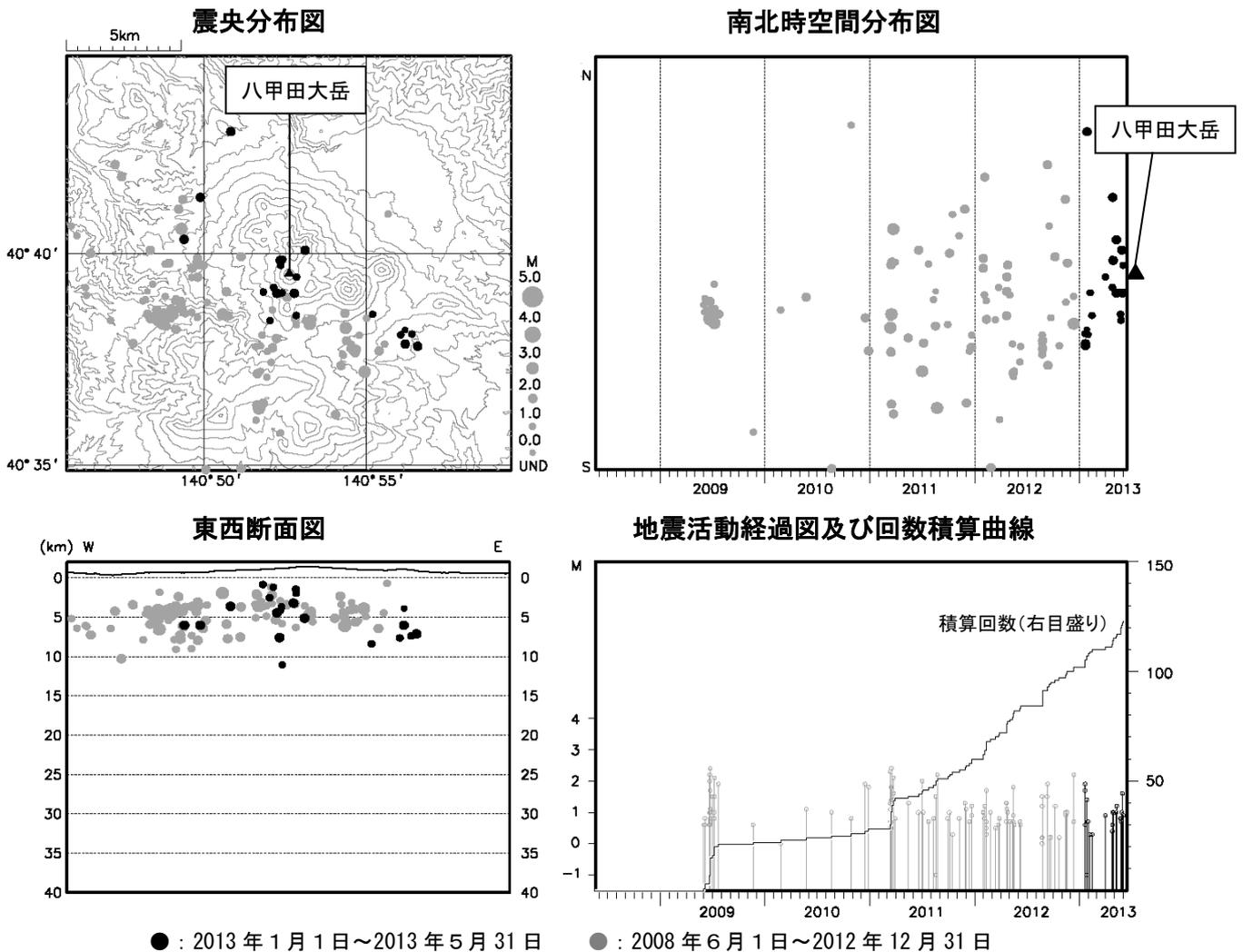


図3 八甲田山 広域地震観測網による八甲田山周辺の地震活動（2008年6月1日～2013年5月31日）